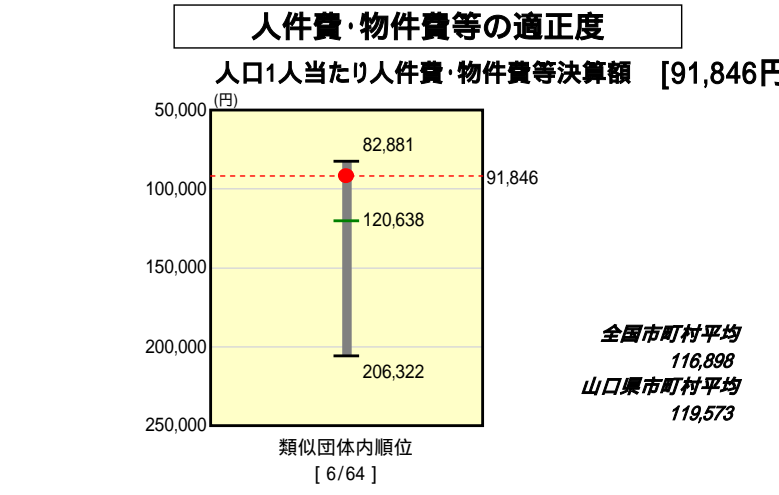
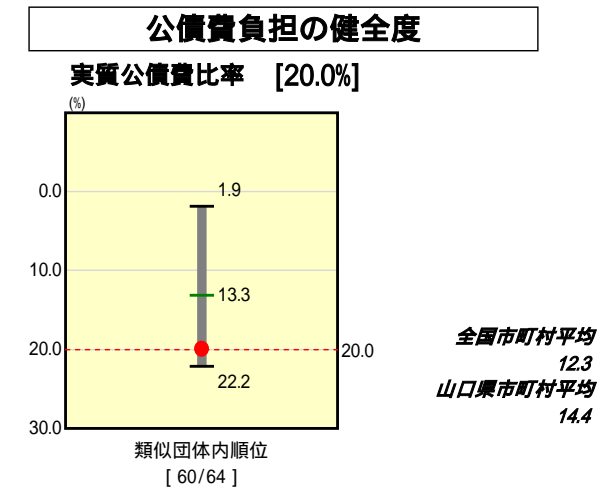
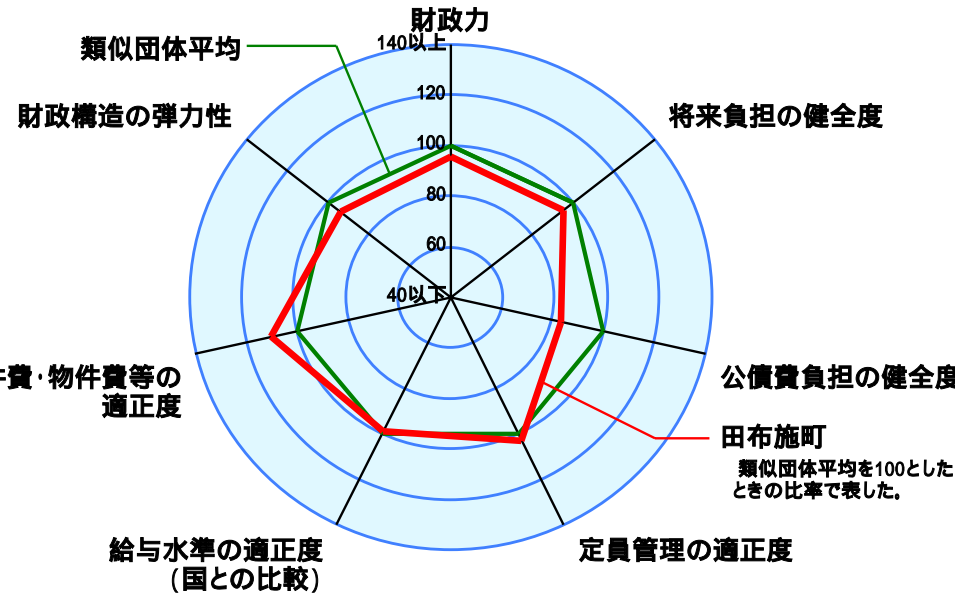
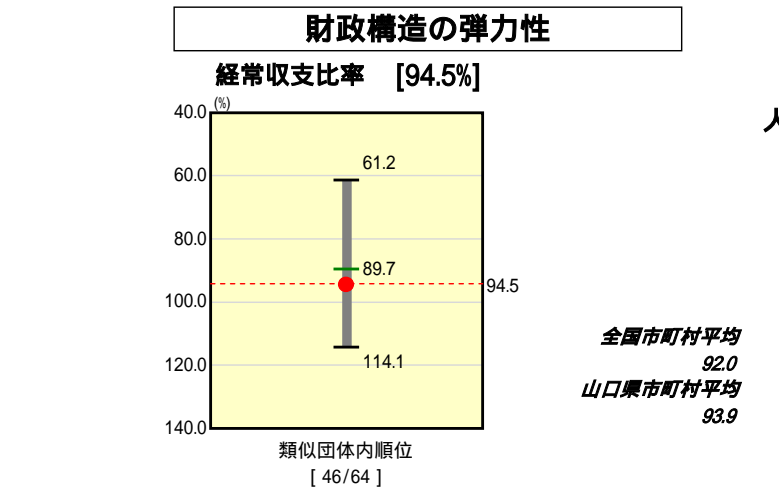
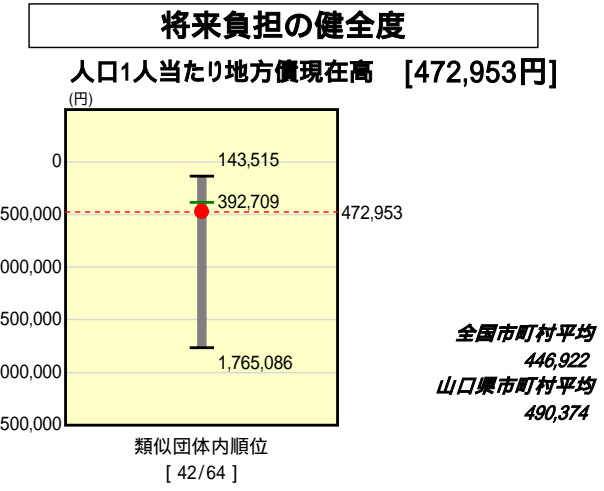
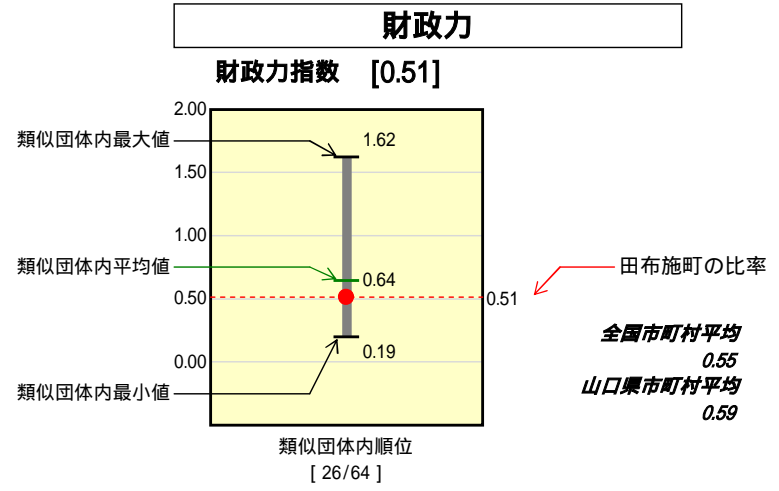


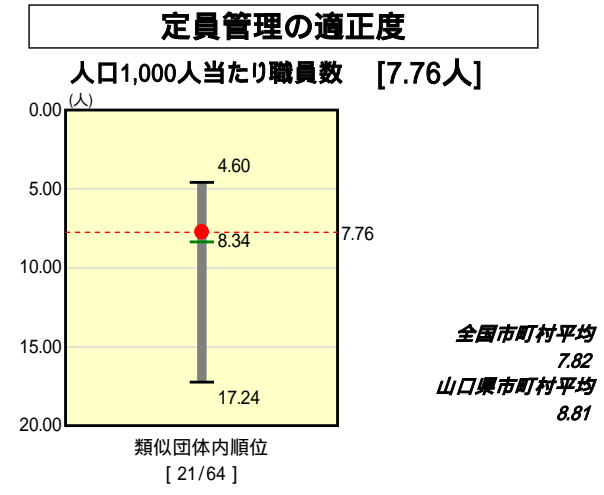
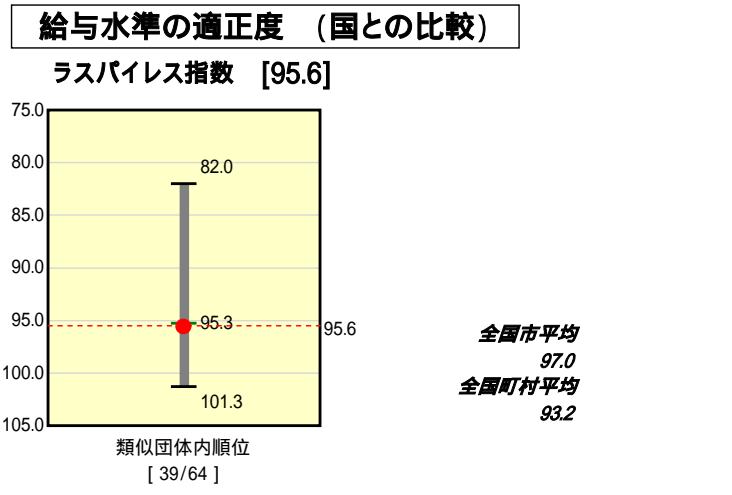
# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 山口県 田布施町

人口	16,634人	(H20.3.31現在)
面積	50.35	km <sup>2</sup>
歳入総額	5,319,541	千円
歳出総額	5,151,344	千円
実質収支	158,628	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
ラスバイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



### 分析欄

**財政力指数:**  
H18から収納対策室を設置して滞納額の圧縮に努めている。今後とも新たな企業立地の可能性を模索する等、多方面から財政力の向上を図るための取り組みを行う必要がある。

**経常収支比率:**  
昨年度から1.9ポイント改善したものの、類似団体平均を大きく上回っている。内訳で見ると特に扶助費と繰出金が高い傾向にある。繰出金のうち下水道事業については、公営企業の原則である独立採算を徹底するため、使用料の引き上げ、工事コストの縮減、認可区域の見直し等、事業内容の見直しを検討している。  
扶助費についても、受益と負担の整合の観点に立ち、随時、事業内容を見直ししていく必要があると考えている。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額:**  
事務経費については、これまでも見直し・効率化を図ってきたが、平成17年10月に「田布施町緊急財政再生プラン」を策定・公表してからは、町長給与・職員手当のカット、職員数の削減を始め、取り組みを進めてきたところである。

**ラスバイレス指数:**  
類似団体平均よりも0.3ポイント高い。退職者の不補充等により、平成18年度から平成22年までの5年間で職員数の15%程度の削減を目指して取り組んでいる。

**人口1人当たり地方債現在高:**  
類似団体平均をやや上回っている状況にある。公営企業である上・下水道の起債残高が多額であり、その経営が非常に厳しいことを考えると、普通会計においても更に償還を進めていく必要がある。なお、平成19年度については、減債基金の取り崩し等、一般財源による(借換債を発行しないで)公的資金の繰上償還を約2,200万円、平成20年度については約1,100万円を実施し、残高の縮減を図っているところである。

**実質公債費比率:**  
18%を超えており、起債にあたって県の許可を要する団体となっている。昨年度からは2.3ポイント改善した。下水道事業に対する繰出金が大きな要因となっているため、「公債費負担適正化計画(H18策定済み)」と「下水道事業経営安定化計画」との整合を図りつつ、具体的に取り組んでいきたいと考えている。

**人口1,000人当たり職員数:**  
類似団体平均を下回っている。今後も人員削減を図っていくこととしているため、地域自主防災組織の設立(H21.3現在・1団体)や公共施設における指定管理者制度の導入(H21.3現在7箇所)、地区公民館の地元管理(H21.4より実施予定)等、地域住民との協力・連携のもと、一層の事務の効率化を図っているところである。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。